



令和3年1月29日  
小田原市立酒匂幼稚園

# さくら組

朝「寒い…」と登園してくる子たちも、日中の暖かい日差しの中で中あてや氷鬼、凧、縄跳びで動くと「暑い！」と別人のように遊んでいます。氷作りも楽しみ、穴の開いた氷に紐を通してネックレスにしたり、色を付けるにはどうしたらいいかと友達と考えたりしています。第3学期になり、友達を誘って遊ぶようになってきました。さくら組と一緒に過ごす時間もあと2ヶ月です。毎日を大切に、元気いっぱい伸び伸びと楽しく過ごしていきたいと思ひます。



## どうやったら飛ぶんだろう…？

凧を作りました。個性豊かなさくら組さんは、レジ袋やカラーポリ袋、新聞紙や紙皿、ペットボトルまで！いろいろな凧を作っていました。しかしなかなか飛びません。年長さんの良く飛ぶ凧をじっと見つめ…「はっ！」と何かに気付きガサゴソ…おもむろに割り箸を取り出し凧にベタリ。他の幼児は枝を拾い凧にベタリ。何をするのかと見ていたら、見よう見まねで凧に骨組みを付けていました。凧に骨組みがあることに気が付き、自分たちでそれになりそうなものを見つけて付ける姿に大感動でした。一生懸命作った凧がたくさん飛ぶといいなあと思ひます。

## 挑戦しています！

年末に挑戦目標を決めました。「まえまわりをがんばる！」や「なかあてでさいごまでのこる！」など頑張りたいことを決めて遊びの中で挑戦をしています。できるようになると、金のステッカーとみんなからの「がんばったね！」の拍手がもらえます。できるようになった子たちは、いつも照れくさそうにしながらも自信をつけ、さらに他のことにも挑戦するようになり、頑張り途中の子も友達と励まし合いながら挑戦しています。年長さんに向かって、いろいろなことに挑戦してまた一歩素敵なおにいさん、おねえさんになってほしいです。



## 鬼のゲームセンター☆

『ねそべりおに じたばたおに』の紙芝居を読みました。このお話は自分の中に鬼がいるという昔話です。自分の中に鬼がいることを受け入れられず、自分には「鬼はいない！」と言い張る子もいれば、「私はすぐに泣いちゃうから、泣き虫鬼かも～」と話す子、「僕には優しい鬼しかいない！」と自信たっぷりの子、様々でとてもおもしろいです。お家でもどんな鬼がお腹の中にいるのか話してみてください。また、鬼のお面作りから「豆が必要だ！」と豆を作り、豆入れを作り、投げてみることに！それが発展しゲームになり、衣装も作っています。「金棒で鬼を叩きたい！」という声からモグラたたきならぬ、鬼たたきも作りました。鬼が叩かれると「いてっ！」と鬼を出している子が言ったり、「制限時間があつたほうがいいね！」と1分と決めたり、「豆が当てられた人にプレゼントがあつたほうがいい！」と画用紙でバッジを作ったり、自分たちで考えて鬼のゲームセンターができて始めています。「年長さんに来てほしいから看板作ろう！」と話している子もいました。さらに、「節分は豆まきパーティをしたい！」とパーティ好きのさくら組さんらしい節分になりそうです。今年は2/2が節分ですが、さくらぐみの節分パーティは1日では終わらなさそうです♪



2月はこんなことをして遊びたいな！

- 自分なりに目的をもって遊びを楽しもう！
- 寒さに負けず、戸外で元気よく遊ぼう！



## おしらせ

やまだ みさとちゃん  
はば こうたろうくん  
が退園されましたので、電話連絡網から削除をお願いします。

